

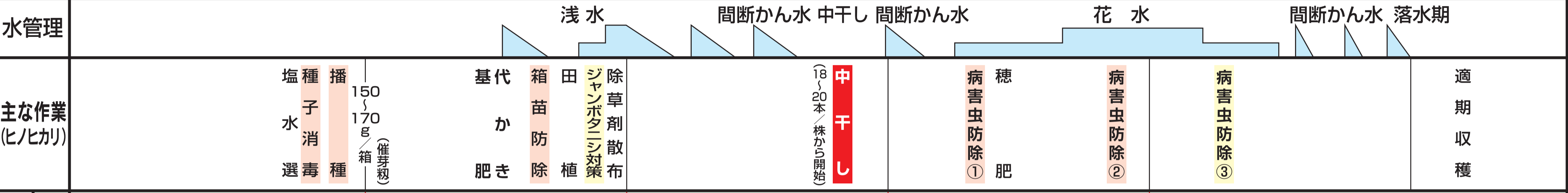
令和6年産

良質米生産ごよみ

●JA福岡大城
●大川市・久留米市・大木町
●南筑後・久留米普及指導センター
令和6年1月作成

産地名	JA福岡大城	生産者名	⑩ 農事組合名()
集落営農組織名()		生産者コード	電話番号
住所	福岡県		番地

月別	5		6		7		8		9		10							
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中					
稲の一生	育苗準備		育苗期		活着期		有効分げつ期		無効分げつ期		幼穂形成期		出穂期		登熟期		成熟期	



主な作業 (ヒノヒカリ)

塩種播 150g/箱 (催芽粉)

種子消毒 170g/箱

播種 1000倍

除草剤散布

田間防除

箱苗防除

基肥

病害虫防除基準

元気づくし

基本防除

補正防除

ヒノヒカリ

ツクシホマレ

24時間種子浸漬

タチガレエースM液剤

苗立枯病など

苗2000箱(水1000L当り) 5000倍

苗2000箱(水1000L当り) 2000倍

イネシロシロシロ

ベンレート水和剤 (水200L当り) 1000倍

テクリートCフロアブル (水200L当り) 2000倍

スミチオン乳剤 (水200L当り) 1000倍

スミチオン乳剤 (水200L当り) 2000倍

コブノメイガ

ホソハリカメムシ

クモヘリカメムシ

セジロウカ(夏ウカ)

トビロウカ(秋ウカ)

●害虫でない虫たちの方が多いのでウカは株元をよく見る。また、コブノメイガは葉先をよく見る。

① アプロードモンカットスタークルF粉剤DL 3~4kg

② プラシントレホン粉剤DL 4kg

③ (液) スタークル顆粒水溶剤 カメムシ類 2000倍(50g/水1000L) ウンカ類 3000倍(30g/水1000L)

④ (粉) アプロードモンカットスタークルF粉剤DL 3~4kg

⑤ コロトップ粒剤5 (粒) スクミン

⑥ フェルテラゼンサロン箱粒剤 50g/箱

【主な水田の雑草】

アゼガヤ アゼナ

コウキヤガラ カヤツリガ

ヒメミソハキ キシュウスズメノヒエ

注意事項

★休閑田は早めに耕起しておく

○元気づくしは、いもち病予防のため、ベンレート水和剤を追加使用する。

○種子浸漬の水は、毎日入れ替える。

○麦ワラは、焼却せず全量すき込み込む。

○土壌診断結果を基に土づくり対策(土改材の散布等)を行う。

○土壌診断を実施する。

○毎年種子更新を行う。

品種特性表

品 種 名	出穂期 月・日	成熟期 月・日	稈長 cm	m当り穂数本	草 型	耐 倒 伏 性	いもち病	高温 登熟性	収 量 ka/10a
元気づくし	8.19	9.26	84	377	中間	やや弱	弱	強	568
ヒノヒカリ	8.26	10.6	84	379	偏穂重	やや弱	やや弱	弱	554
ツクシホマレ	8.30	10.11	76	412	穂数	強	中	-	567

※引用元:福岡県における主要農作物の品種特性
※高温登熟性は、福岡県農林業総合試験場の検定結果より

水稲の高温障害
出穂後20日間の日平均気温が27℃を超えると、胚乳へのデンプン蓄積が阻害される。その結果、白未熟粒発生や充実不足となり、玄米の外観品質(検査等級)や収量が低下する。

○田植後から中干しまで、間断かん水を心掛ける。

○麦ワラをすき込んだ田はガスが湧きやすいため早く間断かん水・中干しに入る。

○除草剤散布後7日間は落水かけ流しをしない。

○高温障害軽減のため、6月20日以降の田植えを心掛ける(特にヒノヒカリは注意)

○元気づくしはいもち病に弱いので、アンコール箱粒剤を施用する。

○基肥施用から7日以内に代かきする。

○中干しは小ヒビが入る程度で、白くなる前までしっかりとす。

○強風後3日間は葉が乾燥しやすいため灌水する。

○台風や乾燥した強い風が吹く時は、深水にしておく。

○カメムシの発生源をなくす為、出穂14日前までに畦畔の除草を実施する。

○穂肥の1回目は主茎の幼穂長が3~5mmの時に、2回目はその1週間後に施用する。

本田施肥 (10a当り) (kg)

品 種 名	土改材		穂 肥 NK7号		水稲基肥 一発肥料		
	オイスターミネラル	ミネラルG	ちくこのめくみ 444	1回目	2回目	元ヒ一発1号	ハイLP800-E80
元気づくし			30	8/4頃 15	8/10頃 10	35	-
ヒノヒカリ	60	100	30	8/9頃 20	-	35	-
ツクシホマレ			40	8/15頃 25	8/22頃 20	-	40

(注1) ちくこのめくみ444…N14%-P14%-K14%
元ヒ一発1号…N20%-P10%-K10%
ハイLP800-E80…N28%-P10%-K10%
NK7号…N14%-P0%-K17%

(注2) 元気づくしは施肥基準を厳守する(倒伏しやすいため)

※麦ワラすき込みの注意点
①ワラは長めに切る
②耕うん(荒起こし)は早めの時期に通常より深く耕す
③ごく浅水で代かきする
④すき込み開始3年間は基肥10kg(一発肥料5kg)増肥する

初期(初中期一発)除草剤(10a当り)

除 草 剤 名	散 布 量	使用時期	注 意 事 項
サラブレットKAI	1キ口粒剤 1kg フロアブル 500mℓ ジャンボ 10パック	移植時または移植直後~ノビエ2.5葉期 移植直後~ノビエ2.5葉期	・散布後3~4日後は常時湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。 ・散布時は、水の出入りを止め湛水状態均一に散布する。 ・粒剤・フロアブル剤:水深3~5cm ・ジャンボ剤・FG剤:水深5~6cm ・葉害防止のため、浅植え、浮き苗が生じないように代かき均平作業及び植え付けを丁寧に行う(田植え同時処理を行う場合は特に注意が必要)。
ラ オ ウ	1キ口粒剤 1kg フロアブル 500mℓ ジャンボ 10パック	移植時または移植直後~ノビエ2.5葉期 移植直後~ノビエ2.5葉期	・田植え同時で除草剤処理を行う場合は、除草剤の拡散促進と葉害防止のため、田植え後速やかに入水する。 ・ジャンボは、コウキヤガラに効果が低い。 ・いぐさ・レンコンの隣接田での使用は十分に注意して下さい。
ジャ スタ	1キ口粒剤 1kg フロアブル 500mℓ ジャンボ 10パック	移植時または移植直後~ノビエ3.5葉期 移植後1日~ノビエ3葉期	
ビクトリー-Z400FG	FG剤 400g	移植後5日~ノビエ3葉期	

中・後期除草剤(10a当り)

適用雑草	除 草 剤 名	散 布 量	散 布 時 期	備 考
イネ科(ヒエ)	トドメMF1キ口粒剤	1kg	移植後14日~ノビエ5葉期	○収穫50日前まで ○湛水散布
	トドメMF乳剤	200mℓ (25~100ℓの水に希釈)	移植後14日~ノビエ7葉期	○収穫50日前まで ○湛水散布または落水散布
	ワイドショット1キ口粒剤	1kg	移植後15日~ノビエ4葉期	○収穫45日前まで ○湛水散布
イネ科(ヒエ) 広葉	ロイヤント乳剤	200mℓ (25~100ℓの水に希釈)	移植後20日~ノビエ5葉期	○収穫45日前まで ○落水またはごく浅く湛水して散布 ○クサナムに効果が高い
	トドメバスマF液剤	1000mℓ (70~100ℓの水に希釈)	移植後15日~ノビエ6葉期	○収穫50日前まで ○落水散布
	レプラスジャンボ	10パック	移植後14日~ノビエ4葉期	○収穫60日前まで ○湛水散布

「JA米」の生産基準

- 生産資材の選択
 - 種子更新100%
 - 使用する肥料、農薬等の資材は、原則としてリストに記載されているもの
- 肥培管理及び除草、病害虫防除
 - 施肥基準及び農薬の安全使用基準の遵守
- 収穫、出荷
 - 適期収穫と麦粒の混入防止
- 生産履歴の記帳・点検
 - 栽培管理表に記入漏れや間違いがないかの確認
 - 栽培管理表は自己点検チェックシートと一緒に提出
- 分別出荷・表示及び不適合品
 - 要件を満たさない米は、JA米として扱われませんので注意しましょう

播種月日	月 日 ~ 月 日	個人・共同・委託(委託先名:)
田植え時期	月 日 ~ 月 日	個人・共同・委託(委託先名:)
出穂期	月 日 ~ 月 日	
収穫時期	月 日 ~ 月 日	個人・共同・委託(委託先名:)

施 肥 ・ 防 除 等			
項 目	品 名	使用量/10a	使用月日
土壌改良剤	オイスターミネラル・ミネラルG・その他()	kg	月 日
元肥	ちくこのめくみ444・その他()	kg	月 日
穂肥(1回目)	NK7号	kg	月 日
穂肥(2回目)	NK7号	kg	月 日
一発肥料	元ヒ一発1号・ハイLP800-E80	kg	月 日
種子消毒剤	ベンレート水和剤	倍	月 日
種子消毒剤	スミチオン乳剤	倍	月 日
種子消毒剤	ベンレート水和剤	倍	月 日
育苗期剤	タチガレエースM液剤	倍	月 日
箱施肥剤	フェルテラゼンサロン箱粒剤	g	月 日
除草剤(初期)	サラブレットKAI・ラオウ・ジャスタ	kg	月 日
	サラブレットKAI・ラオウ・ジャスタ	mℓ	月 日
	サラブレットKAI・ラオウ・ジャスタ	パック	月 日
除草剤(中・後)	ビクトリー-Z400FG	g	月 日
除草剤(中・後)	トドメMF1キ口粒剤・トドメMF液剤	kg・mℓ	月 日
除草剤(中・後)	ワイドショット1キ口粒剤・ロイヤント乳剤・レプラスジャンボ・トドメバスマF液剤	kg・mℓ・kg	月 日
ジャンボタニシ対策	スクミン	kg	月 日
本田防除	コロトップ粒剤5	kg	月 日
	アプロードモンカットスタークルF粉剤DL	kg	月 日
	プラシントレホン粉剤DL	kg	月 日
	スタークル粉剤DL	kg	月 日
	アプロードロムタンモンカットエアー	倍	月 日
	プラシントレホン粉剤DL	倍	月 日
	トレホンEW	倍	月 日
スタークル顆粒水溶剤	倍	月 日	
ヘリ防除(1回目)(委託先名:)			月 日
ヘリ防除(2回目)(委託先名:)			月 日

※使用した品名に○印をつけて下さい。品名のない場合は空白欄に追加記入して下さい。
※提出はカントリー出荷時にお願致します。
【消費者が何を望むか】 “消費者・市場重視で考えよう” JA確認者
キリトリセン

生産者自己点検チェックシート 記入日 月 日

集落営農組織名()	集落名()	氏名()
JA米生産者用(令和6年産)		
関連事項	チェック項目	結果(いずれかに○)
J A 米 の 要 件	1 「JA米の3つの要件」を知っていますか?	はい・いいえ
	2 銘柄が確認された種子による栽培。	はい・いいえ
	3 登録検査機関で受検されている。	はい・いいえ
契 約	4 JAからJA米の要件および生産基準について説明を受けましたか?	はい・いいえ
	5 出荷契約は結んでいますか?	はい・いいえ
	6 種子(苗)の銘柄は確認しましたか?	はい・いいえ
記 帳 の 実 施	7 栽培履歴は全出荷米について正しく記帳し、記入漏れはないですか?	はい・いいえ
	8 ●使用した全ての農薬名、使用日、使用量が記帳されていますか?	はい・いいえ
	9 ●使用した全ての肥料名、土壌改良資材名、使用日、使用量は記帳されていますか?	はい・いいえ
	10 ●播種日、田植日、出穂日、収穫日が記帳されていますか?	はい・いいえ
異 品 種 混 入 の 防 止	11 ●登録農薬を使用しましたか?	はい・いいえ
	12 ●農薬の使用基準を守りましたか?	はい・いいえ
	13 育苗・栽培を通じて他の品種の混入は妨げましたか?	はい・いいえ
	14 ●種子は、他の品種名が区別できるようになっていましたか?	はい・いいえ
そ の 他	15 ●苗(苗箱)は、他の品種名が区別できるようになっていましたか?	はい・いいえ
	16 ●田植えの際に、他の品種の苗が混ざっていませんか?	はい・いいえ
	17 ●コンバインやフレコンは清掃しましたか?	はい・いいえ
備 考	18 麦ワラをすき込んでいますか?(麦作付者のみ)	はい・いいえ

※提出はカントリー出荷時にお願致します。

◆農薬使用基準の遵守 ◆農薬飛散防止に努めましょう ◆麦ワラは、焼却せず全量すき込みましょう ◆田まわりを実施し、生育を把握しましょう ◆良食味米生産のため施肥基準を守りましょう ◆農薬の登録内容は随時更新されますので使用する際は、包装容器や袋に記載されている有効期限および登録内容を確認して下さい